

名古屋大学医学部附属病院

病院長名	小寺 泰弘
所在地	〒466-8560 愛知県名古屋市長和区鶴舞町 65 番地
交通案内	JR 中央線「鶴舞駅（名大病院口）」下車 徒歩 3 分 名古屋市内営地下鉄「鶴舞駅」下車 徒歩 8 分

□ 病院の特徴

名古屋大学では従来より、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置するとともに、2008 年度からは、初期研修後の専門医育成も支援するために、『卒後臨床研修・キャリア形成支援センター』として機能充実を図り、研修サポート体制の拡充を行った。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになった。すなわち、2 年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制が確立したと言える。各種教育ツールを一括管理してシミュレーションによるトレーニングを進めるとともに、OJT (On the Job Training) を重視して臨床手技の習得が速やかに行われるように力を注いでいる。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

脳神経外科専門研修名古屋大学医学部プログラム

【研修目標】

脳神経外科を専攻する優れた医師を養成し、脳神経外科学の進歩発達とその診療水準の向上をはかり、国民の福祉に貢献すること

【研修期間】

4 年

【研修スケジュール】

医学部卒後 2 年間の初期研修のあと、3 年目以降の後期研修として専攻医研修を行う。連携施設とは一般社団法人日本脳神経外科学会・日本専門医機構に認定された、プログラム責任者が認める指導医が 2 名以上常勤する高度な医療技術を有する病院であり、その多くは愛知県、岐阜県、三重県、静岡県の中核病院である。指導医のもとに多くの手術を術者としての経験させるように指導しており、初期専門医教育の修了時には脳神経外科医としての各種疾患に対する基本的手術手技について豊富な症例数に裏打ちされて、そのほとんどが経験できる。卒後 6 年目前後には後期専攻医教育を基幹施設である大学病院で研修の仕上げを行い、専門医試験に臨む。専攻医全体への学習機会として、本プログラムにおいては平成 27 年 2 月より専攻医向け勉強会をさらに充実強化させた。すでに手術経験数に恵まれた専攻医が、エビデンスや最新の知見に基づいた治療を選択し、専門医取得後の日常診療に活用させることを目的としている。



□ 主な連携施設

岡崎市民病院、国立病院機構名古屋医療センター、静岡済生会総合病院、JCHO 中京病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、名古屋掖済会病院、小牧市民病院、豊橋市民病院、市立四日市病院、半田市立半田病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、愛知県厚生連海南病院、安城更生病院、一宮市立市民病院、公立陶生病院、大垣市民病院、岐阜県立多治見病院、豊田厚生病院、医療法人豊田会刈谷豊田総合病院、江南厚生病院、総合青山病院、春日井市民病院、東可児病院、稲沢市民病院、あいち小児保健医療総合センター、医仁会さくら総合病院、静岡県立静岡がんセンター、大同病院、名古屋セントラル病院等

□ メッセージ

指導医（病院講師 竹内 和人）

名古屋大学は多くの研修施設を有しており、年次が近い研修者が一施設に集中することなく、術者としての機会を早くから得ることができるのが特徴です。また専攻医の先生には後期研修 2 年目以降、少なくとも 2 力所以上（基幹施設を除く）の研修施設でのローテーション研修を原則とし、経験する症例の偏りがないようにしています。どの研修施設も症例数が多く、多岐にわたる疾患に対応しなければなりません。忙しくも充実した日々を過ごすことができます。研修施設の中には、神経内視鏡、小児、脊椎、てんかんなどの特殊な疾患に特化した施設もあり、希望に応じて研修先を変更することも可能です。名古屋大学の研修プログラムをうけた多くの方が、後期研修を終了する頃までには指導医のもとで前方循環の脳動脈瘤クリッピング術を完遂できるようになっており、この研修プログラムの成果の一つだと感じています。後期研修終了後は大学病院での研修を行い、研修の仕上げとなります。大学病院には日本をリードする subspecialty のスタッフが多数おられますので、最新のトピックスを身近に聞くことができ、先端医療、難易度の高い手術や特殊な症例を数多く経験できます。難関である脳神経外科専門医を確実に取得できるよう、専門医試験対策勉強会（専攻医が定期的に集合して行う）や専攻医向け試験対策講義・試験（試験合格して間もない専門医が担当）等も開催されており、高い合格率を維持しています。



□ 募集要項

・採用予定人数	12 人(予定)
・給与/月額	月額約 20 万円に加え、該当する場合に手当（通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当（夜間診療業務手当等））を支給
・当直回数/月	約 2 回/月
・当直料/回	20,000 円/回
・その他	大学研修中は上記に加え平日日勤等の外勤等 可 連携施設での研修期間中は施設ごとの給与体系による
・応募連絡先	担当者 竹内 和人 電話番号 052-744-2353 Eメール ktakeuchi@med.nagoya-u.ac.jp